

(様式1)

令和7年度 防災計画（抄）

（5—13）

名古屋市立岩塚小学校長
小田切 英樹

I 目 的

- 1 地震、台風の発生時に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにさせる。
- 2 自然災害の発生メカニズムをはじめとして地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項が理解できるようにさせる。
- 3 児童の安全を確保するために災害発生時や事後に適切な安全措置がとれる体制を確立する。

II 災害安全に関する指導 年間計画（訓練も含む）

実施予定日	指導・訓練の主な内容	訓練
4月14日	火災発生を想定した避難訓練 （避難経路・避難方法・避難場所の確認等）	○
5月上旬	「なごやっ子防災ノート」を活用した地震・火災に関する指導 （学級活動）	
6月12日	大規模地震発生を想定した保護者への引き渡し訓練登下校中に 地震が発生した場合についての指導 （分団児童会・現地下校指導）	◎
7月中旬	在校中に緊急地震速報受信の後、地震発生・津波発生・浸水被害 発生を想定した避難訓練	
9月上旬	「なごやっ子防災ノート」を活用した地震・火災に関する指導 （学級活動）	
11月8日	津波・浸水被害時の避難場所について、保護者への周知 （土曜日の行事での来校時に保護者が避難場所を見学）	
1月8日	業間に大規模地震発生を想定した避難訓練 《児童への訓練の予告なし》（避難方法・避難経路の確認）	○

III 生命の安全確保に対する指導について

- 地域で起こりやすい災害や地域における過去の災害について理解させ、安全な行動を取るための判断に生かすことができるように指導する。
- 災害時における危険を認識し、日常的な訓練等を生かして、自らの安全を確保できるよう指導する。
- 「なごやっ子防災ノート」や「災害から命を守るために」等の資料を活用し、教科や学級活動を通して、災害に対する正しい知識を身に付けさせる。